

新みんなで取り組む「教育立県ちば」プラン

千葉県教育の目指す姿

● 元気な子ども ●

学校・地域における様々な体験を通して
道徳性と
豊かなコミュニケーション能力を
身に付け、
郷土と国に **誇りと愛着**を持ち、
確かな学力を伸ばし
バランスのとれた生活習慣を身に付け
健やかで、
自己肯定感
にあふれた子どもが育っている



● 元気な県民 ●

地域に **活気** あふれた
「元気な千葉県」
運動に親しみ
文化活動を通じて
心豊かに暮らし、
スポーツや文化、芸術で
活躍する人が増え、
伝統文化に現代的要素が融合した
ちば文化の魅力が高まり、
一人一人が、千葉県に **愛着や誇り**
を感じられるようになっている



● 元気な学校・家庭・地域 ●

子育てや家庭教育を **相談する環境**が整って **家庭の教育力**が高まり、
子どもや若者の成長を支える **地域コミュニティ**が形成され、
元気で明るいあいさつの声が響いている

個性が輝き、**希望や能力**を引き出す学習環境が整い、
いじめや暴力に悩むことなく、子どもたちが **楽しく学校に通い**、
障害のある子もない子も **共に学び**、地域に **笑顔**があふれている

困難を抱えた **子どもや若者**が、周りの支援によって **生き生きと仕事**をし、**有害な環境**を
なくす取組が進められている



人口減少・少子高齢化

核家族化、家庭の果たす役割の変化、
若者が乳幼児にふれる機会の減少

千葉県教育をめぐる現状

地域コミュニティの変容

子どもや家庭の孤立化、
地域における交流の場の減少



東日本大震災の発生

自助・共助・公助という考えの下、
県内全域の防災力の向上が必要に

社会の激しい変化と 将来への展望

社会の情報化(デジタル化)の進展

「教育・人材」の分野における利活用、
情報モラル教育の促進が必要に

グローバル化の進展

国際的な競争力の維持・充実と
それに対応できる人材の育成が必要に

雇用環境の変容と社会的・ 経済的格差の進行

地域間格差、世代間・世代内の
社会的・経済的格差の拡大